ポーカーの遊び方

株式会社ジーピー
URL www.gp-inc.jp
TEL 03-3950-8801 FAX 03-3950-8895
© 2010 GP inc.

世界のトーナメントで、優勝賞金、参加人数、どちらも世界最大なのは、実はポーカーなのです。ポーカーフェイスという言葉から日本でも馴染み深く、今では「テキサスホールデム」というルールで世界的なポピュラーゲームとなりました。ギャンブルとしてだけではなく、知的ゲームとしても楽しまれているゲームです。

注意事項
※ポーカーには様々なルールが存在しますが、一般的に遊びやすいルールを記載しました。
※賭博行為は違法です。賭博行為をされて何らかの損害やトラブルが生じても、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

◆ゲームの目的

全員で賭けを行いながら、５枚のカードで１番強い「役」を作った人が勝ちです。賭けられたチップは勝者の総取りとなります。
この説明書では「テキサスホールデム」でルールを解説します。

ポイント：チップの賭け方（勝ち方のコツ）

ポーカーは、チップを使った“賭け”が鍵となります。

一般的に、賭けたチップの量は手札の強さを表します。勝てると思えば途中でチップを増やすことができます。他の人はそのチップを見て、自分の方が強いと思えば同額、またはそれ以上の額を賭けられます。または弱いと思えば勝負を降りることができます。その場合、途中まで賭けたチップは戻りません。

しかし、チップを多く賭けた人が必ずしも「強い役」とは限りません。弱い役でもチップの量をつり上げて、全員を勝負から降ろしてしまえば勝つことができます。

このようにポーカーは心理戦がおもしろいゲームでもあります。時にはポーカーフェイスで勝負を楽しんでみてください！

◆ゲームの準備

ルールの詳細は次ページ参照

①チップを全員に等しく配ります。（端数は使いません）
②親（ディーラー）を決めます。
　親はシャッフルしてカードを配ります。（通常ジョーカーは使いません）

他のゲームと違い、ポーカーの親は銀行役ではありません。動作をする際の「起点」という意味で使われています。つまり、親もプレイヤーであり、またゲームごとに時計回りで交代します。

カードの役（最初にカードの「役」をしっかり覚えてください）

弱い ↑ ↓ 強い

役	説明	例
ワンペア	同じ数字が１組揃う組合せ	2 2 7 5 J
ツーペア	同じ数字が２組揃う組合せ	2 2 7 7 J
スリーカード	同じ数字が３枚の組合せ	2 2 2 K J
ストレート	５枚の数字が番号順の組合せ ※マークがバラバラの場合	2 3 4 5 6
フラッシュ	同じマーク５枚の組合せ ※数字がバラバラの場合	♠2 ♠J ♠4 ♠8 ♠K
フルハウス	同じ数字が３枚とワンペアの組合せ	2 2 2 7 7
フォーカード	同じ数字が４枚の組合せ	2 2 2 2 J
ストレートフラッシュ	５枚の数字が番号順で、全てが同じマークの組合せ	♠2 ♠3 ♠4 ♠5 ♠6
ロイヤルストレートフラッシュ	ストレートフラッシュで数字が一番大きい組合せ	♠10 ♠J ♠Q ♠K ♠A

◆同じ役が出た場合の強弱

２名以上で同じ役が出た場合は、一番強いカードを持っている人が勝ちとなります。

←強い　【カードの強さ】　弱い→
A、K、Q、J、10、9、8、7、6、5、4、3、2

【補足】：賭けの基本ルール

ゲームの途中で「賭け」が数回行われます。
ポーカーの賭けの基本は参加者全員が同額になるまで賭けることです。同額になったら1回の賭けが終了し、ゲーム中の次のステップに移ります。

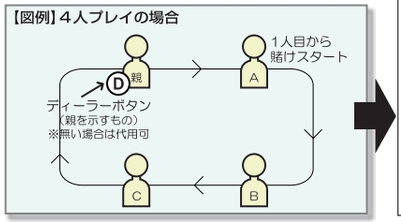
具体的には、自分の番で以下のことができます。

①様子見でパスする（＝0枚を賭ける）	：チェック（専門用語）
②１枚以上チップを賭ける	：ベット
③同額になるように賭ける	：コール
④上乗せする	：レイズ
⑤さらに上乗せする	：リレイズ
⑥全額を賭ける	：オールイン
⑦勝負を降りる	：フォールド

※ベットされている場合、チェックはできません
※勝負を降りたらチップは戻りません

賭けは親の左隣１人目からスタートして時計回りに行います。フォールドした人以外の全員が同額になるまで何週でも賭けを行います。

【図例】４人プレイの場合



◆賭け方の事例　※左下【図例】４人プレイを引用して解説しています

全員がチェックした場合

賭けスタート
↓
A チェック（０枚を賭ける）
↓
B チェック
↓
C チェック
↓
親 チェック
↓
賭けが終了

◆解説
全員０枚で同額になったので賭けが終了（成立）します。
ゲーム中の次のステップに移ります。

ベットの事例（賭けが２週した場合）

賭けスタート
1週目
↓
A チェック
↓
B ベット
↓
C フォールド
↓
親 コール
↓
2週目
↓
A コール
↓
賭けが終了

◆解説
参加者全員が同額になるまで何週でも賭けを行い、同額になった瞬間に賭けが終了します。
※全員同額になった後にレイズはできません

レイズの事例（賭けが２週した場合）

賭けスタート
1週目
↓
A ベット
↓
B コール
↓
C レイズ
↓
親 フォールド
↓
2週目
↓
A レイズにコール
↓
B フォールド
↓
賭けが終了

◆解説
レイズによって２人だけ生き残ったので、次のステップは２人で行われます。

１人残して全員がフォールドした場合

賭けスタート
↓
A ベット
↓
B フォールド
↓
C フォールド
↓
親 フォールド
↓
ゲームが終了（A君の勝ち）

◆解説
A君を残して全員がフォールドしたことで、A君が自動的に勝ちとなります。賭けられたチップ全てを獲得してゲームが終了します。

オールインの事例

手持ちのチップがコールに足りない場合は、オールインすることで賭けに参加できます。

賭けスタート
↓
A ベット
↓
B フォールド
C オールイン
親 コール
↓
賭けが終了

◆解説
オールインした後も残りの人で賭けは続きます。C君は最後までゲームに参加できますが、チップが無いため、その後の賭けはA君と親で行います。

⇒A君（または親）が勝った場合
通常どおり、A君が賭けられた全てのチップを獲得します。

⇒C君が勝った場合

オールインした枚数：２枚（上の例）
×
賭け参加人数　：３人
（オールイン時点の人数）
＝
C君の獲得チップ　：６枚

C君が勝った場合は６枚のチップを獲得します。逆にこの後に賭けが続いてもそれ以上のチップはもらえません。残りの賭けチップは２番目に強い人が獲得します。

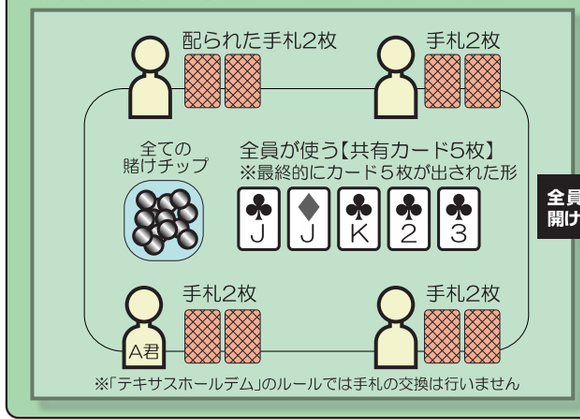
テキサスホールデム ♣

世界で最も普及しているポーカーのルール（カジノで有名なルール）

２～１０人ぐらいで遊べます。全日本ポーカー選手権はこのルールで開催されています。

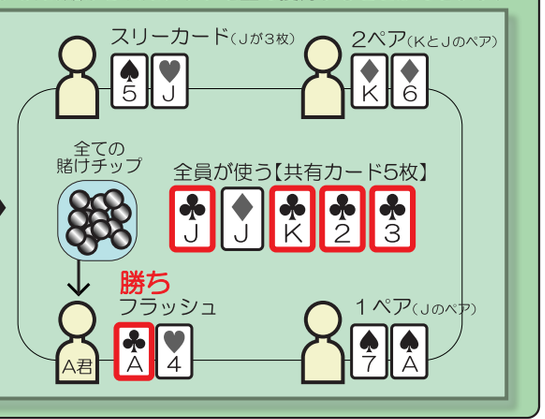
◆勝負の決着の着き方とその例

配られた【手札２枚】と全員が使う【共有カード５枚】を合せた**計７枚から強い組合せの５枚を選び**勝負を行います。



全員の手札を開けてみると…

【例】A君は、手札1枚と共有カード4枚を組合せてフラッシュという役を作りました。その結果、一番強い役を作り勝ちとなりました。賭けられたチップを全て獲得することができます。



◆ゲームの開始と進行

さあ、ゲームスタートです。
実際には下記の手順で行われます。

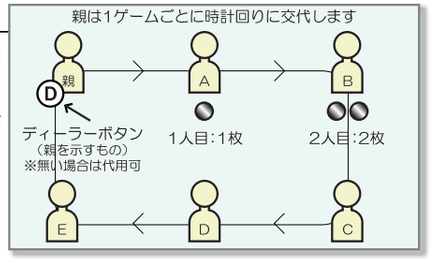
①参加料を払う
↓
②手札２枚が配られる
↓
③１回目の賭けを行う
↓
④共有カード３枚を開く
↓
⑤２回目の賭けを行う
↓
⑥共有カード４枚目を開く
↓
３回目の賭けを行う
↓
⑦共有カード５枚目を開く
↓
４回目（最後）の賭けを行う
↓
⑧勝負終了＆チップの獲得

【①参加料】※強制の賭けベット

まずはじめに参加料を払います。親の左隣から数えて１人目、２人目だけ参加料を払います。
※残りの人は参加料はかかりません

１人目がチップを１枚（最小単位）、２人目がその倍の２枚を払います。

◆専門用語
１人目の参加料：スモールブラインド
２人目の参加料：ビックブラインド
（キャリーセットには専用ボタンが付属）



【②手札２枚を配る】

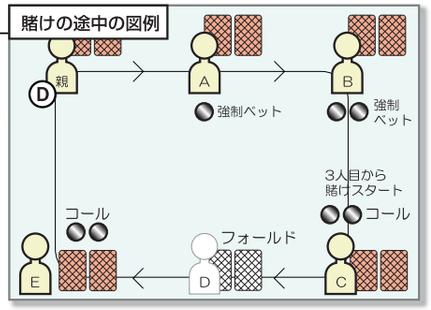
次に、親はカード（手札）を配ります。親の左隣から時計回りに１枚ずつ計２枚を配ってください。
そして、各参加者は２枚のカードを確認して１回目の賭けを行います。

【③１回目の賭け】

最終的に共有カード５枚が出ることを考えながら１回目の賭けを行います。
（賭け方は前ページ参照）
参加料は強制ベットとなるので、親の左隣３人目から賭けを行います。

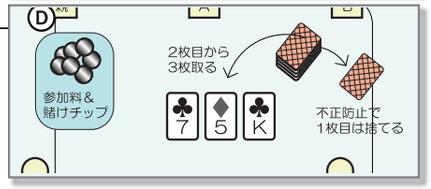
◆Bさん（ビックブラインド）の賭け
通常の賭けは全員が同額になった瞬間に終わりますが、１回目の賭けでBさんだけ条件が変わります。
Bさんの強制ベット２枚で全員が同額になった場合のみ、Bさんだけレイズすることができます。

賭けの途中の図例



【④共有カード３枚】

１回目の賭けが終わって初めて共有カードが出てきます。まず３枚が開かれます。
親は山札から３枚カードを取り表にして中央に広げてください。
※カードを取る時は山札の1枚目は不正防止で捨てて、その後からカードを取ります。（以降も同様）



【⑤２回目の賭け】

あと２枚の共有カードが出ることを考えながら２回目の賭けを行います。
２回目以降の賭けは親の左隣１人目から行ってください。

【⑥共有カード４枚目＆３回目の賭け】

２回目の賭けが終わったら、共有カード４枚目を開きます。そのあとに⑤と同様に３回目の賭けを行ってください。

【⑦共有カード５枚目＆４回目の賭け】

最後の共有カード５枚目を開きます。そして、⑥と同様に最後の賭けを行います。

【⑧勝負＆チップの獲得】

全員同額になったら手札をオープンします。一番強い役を作った人が勝ち、賭けチップ全てを獲得します。親が時計回りに交代して次のゲームに移ります。

◆その他のルール：ドローポーカー

もっとも有名なポーカーの基本ルールです。
実際には下記の手順で行います。

①参加料
　最初に、参加料としてチップを1枚（最小単位）払います。そのあと親は全員にカードを５枚配ります。親の左隣から１枚ずつ計５枚を配ります。
②１回目の賭け
　各参加者は配られたカードを確認し、カードを交換する前に賭けを行います。**親の左隣の人**から時計回りに賭けを行い、降りた人以外の**参加者全員が同額**になるまで賭けをします。
③カードの交換
　親の左隣の人から１回だけカード交換を行います。カード交換は好きな枚数を交換できます。
④２回目の賭け
　交換が終わったら②と同様に２回目の賭けをします。
⑤勝負＆チップの獲得
　２回目の賭けが終わったら手札を見せて勝負を行います。強い役を作った人が勝ち、賭けチップ（参加料含む）全てを獲得します。